

—その答えはここにある。

安全衛生トップセミナー

2026
開催日

11/26 (木) → 27 (金)

会場

新横浜プリンスホテル
(神奈川県横浜市・新横浜駅徒歩5分)

企業を支える安全衛生に強い人づくり

企業のトップ層の方々を対象とし、著名講師陣による経営全般から安全・健康まで幅広い内容の講演と企業の事例紹介による情報を提供。また、参加者間の情報交換を通じての安全衛生のネットワークづくりなど、これからの安全と経営、安全衛生の取り組みの活性化について考える2日間にぜひ、ご参加ください。

情報交換

「経営トップとして日頃抱えている安全衛生管理活動の問題・課題について、様々な企業の取り組みや、自分とは異なった考え方を知ることができた」、「安全衛生管理活動を推進する上でのヒントを得た」と参加者から好評を得ております。

参加を終えた受講者の声

異業種の人たちとの情報交換は新鮮で、新たな気づきやヒントが得られ大変参考となった。特に安全活動に対する悩みは共通であるところが多く、実施事例などを聞いて参考になった。

自社の安全活動を見返す良い機会となった。

安全管理、リーダーシップ、人材育成など即実行に移せるアイデアを沢山いただいた。日々の安全活動に取り入れ安全な職場を目指していく。

主催：中央労働災害防止協会
<https://www.jisha.or.jp/>

全ての働く人々に安全・健康を
～ Safe Work , Safe Life ～

JISHA
Japan Industrial Safety & Health Association

講演・事例紹介

高齢労働者の 労働災害防止戦略 ～改正法対応と実効性ある企業実務～

●講演内容：労働安全衛生法の改正により、「高齢者の労働災害防止のための指針」が2026年2月に施行され、企業には高齢労働者への安全配慮が一層求められるようになりました。人的資本経営やCSRの観点からも、当該対応は経営上の重要課題です。本講演では、経営層を対象に本指針の要点と法的・実務的意義を整理した上で、人間工学的知見に基づくリスク低減策や、全社的に推進すべき高齢者対策の戦略的枠組みについて解説し、実効性ある取り組みの方向性を提示します。

榎原 毅

(えばら たけし)

産業医科大学
人間工学研究室教授

プロフィール：

博士(医学)、認定人間工学
専門家。

2005年より名古屋市立大学大学院医学研究科 労働生活・
環境保健学分野助教・講師、2019年准教授を経て、2022
年より現職。

IEA(国際人間工学連合) 理事、日本人間工学会副理事長、
人間工学誌編集委員会委員長、国際標準化機構ISO/TC159
(人間工学) 国内対策委員会SC3分科会委員長など歴任。

専門分野は主に産業保健人間工学。ビッグデータを利用し
たライフログ解析の産業保健応用、産業人間工学のメタア
ナリシス、生物疫学統計ほか。



講師

デンソーにおける 安全の原点と 半世紀に及ぶ安全活動の積み上げ

●講演内容：当社は、1969年に若い仲間を失う、取り返しのつかない災害(アルミ粉塵爆発事故)を安全の原点として、その事故の記憶と教訓を後世に語り継がなければならない想いで、半世紀以上に亘り安全と真剣に向き合ってきた。その結果、現在では休業度数率が0.03(2022年度)レベルまでになり、自動車業界としてトップレベルを維持している。
半世紀積み上げてきた安全の基盤となる取り組み事例(デンソー安全コアアクション10)と、安全の原点を伝承し安全を自分事にする活動について紹介する。

棚橋 昭

(たなはし あきら)

株式会社デンソー
安全衛生環境部
上級キャリアエキスパート
(部長級)

プロフィール：

1989年に株式会社デンソーに入社し、生産技術部の材料技術部門に配属される。その後、電子・半導体製品に使用される鉛フリーはんだ材料開発や電子・半導体関係の実装開発業務に従事する。2006年に安全衛生環境部門に異動し、グローバル安全衛生環境管理室長、環境専門室長を経て、2015年に安全衛生環境部長に就任。2019年より安全衛生環境部の担当部長として、「安全の原点」伝承する取り組みを実施してきている。2025年に上級キャリアエキスパート(部長級)に就任し、現在に至る。



講師

講演：労働安全衛生行政の動向

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部



講演

安全は人が育つ会社から生まれる ～健康・安全・キャリアで考える これからの人材戦略～

●講演内容：安全は現場の問題ではなく、経営と人材戦略の問題です。少子高齢化による人手不足、若手の採用難や離職、熟練技能者の引退、外国人労働者の増加など、労働現場での環境は大きく変化しています。こうした構造変化の中で、安全を「事故防止の管理」として捉える従来の発想だけでは十分とは言えません。これからの安全は、人材育成やキャリア形成と結びついた組織づくりの中で生まれます。本講演では、ルールや監督中心の安全管理から、成長機会や自律を支える「人が育つ職場」への転換という視点から、安全・健康・キャリアを統合した人材戦略とその実践の方向性を提示します。

廣川 進

(ひろかわ すすむ)

法政大学 キャリアデザイン学部
教授(文学博士)

プロフィール：

臨床心理士、公認心理師、シ
ニア産業カウンセラー、1級

キャリアコンサルティング技能士。日本キャリア・カウンセ
リング学会前会長。慶應義塾大学卒業後、ベネッセコーポレー
ションに勤務し、「ひよこクラブ」創刊に携わる。勤務の傍ら
社会人大学院で臨床心理学を学び、人事部門ではヘルスケ
ア体制の構築や採用・研修などにも従事。

2001年退社後、大学教員として臨床心理学とキャリア支援の
実践・教育・研究に取り組む。官公庁や企業でのカウンセ
リング、メンタルヘルス・キャリア支援の研修講師やコンサル
タントとしても活動している。近著に『これで解決!シゴトと
ココロの問題』



講師

ヒューマンファクター的視点 による安全対策

●講演内容：どの事業所も事故が発生しないよう日々努力してい
るなか、無事故を継続している事業所もあれば、なかなかうまく
いかない事業所もある。本講演では、ヒューマンファクターの
観点からその成否を分けるものは何かについて考えてみたい。
ヒューマンファクターの観点によるこれまでの事故防止の取り組
みはヒューマンエラーを発生させる背後要因に着目していたが、
それとともに本講演では、事故になりそうな場面でもなぜ事故
を回避することができたか、あるいはどのように作業を円滑に遂
行するのかというように、事態が良い方向に向かう要因に着目し、
事態が良好な状態を保つにはどうすべきかということについて考
えてみたい。

鳥居塚 崇

(とりいづか たかし)

日本大学生産工学部 教授

プロフィール：

横浜国立大学および産業医科
大学 非常勤講師。

博士(工学)、修士(人間科学)。

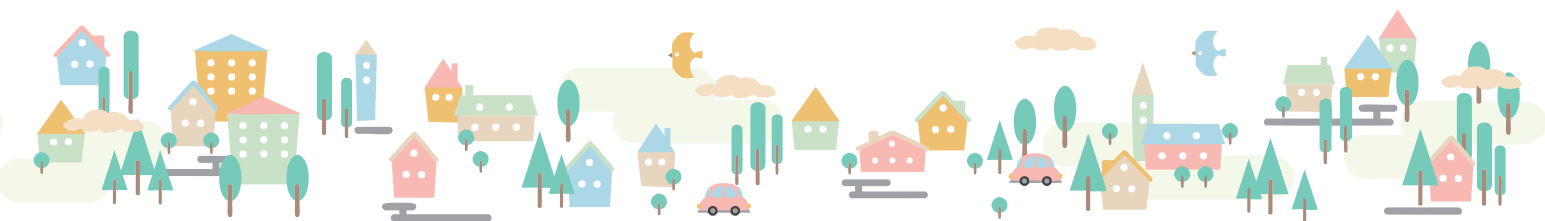
認定人間工学専門家。日本人間工学会会長(理事長)。

専門は人間工学(Human Factors & Ergonomics)、安全工
学、応用心理学、感性工学など。

ヒューマンファクターの視点による建設やプラントの安全管
理に関する研究に従事。中災防OSHMS普及啓発検討委員
会委員長、市原市石油コンビナート保安推進検討委員会委
員長、仮設工業会・レジリエンス能力向上対策に関する検討
委員会分科会委員長、厚労科研労働安全衛生総合研究事業
(課題番号：24JA1005) コンソーシアム座長など。慶大大学
院博士課程、早大大学院修士課程修了。



講師



1日目 令和8年11月26日(木)

12:30～13:00	受付
13:00～13:05	オリエンテーション
13:05～13:20	開講挨拶 中央労働災害防止協会 理事長 竹越 徹
13:20～14:50 (90分)	講演 1 『高年齢労働者の労働災害防止戦略 ～改正法対応と実効性ある企業実務～』 産業医科大学 人間工学研究室 教授 榎原 毅
14:50～15:00	休憩
15:00～17:30 (150分)	情報交換 『安全衛生管理活動の現状と課題』
17:30～17:50	休憩・チェックイン
17:50～18:20 (30分)	講演 2 『労働安全衛生行政の動向』 厚生労働省 労働基準局 安全衛生部
18:20～18:30	会場移動
18:30～19:50	全体交流懇談会

2日目 令和8年11月27日(金)

7:00～	朝食
9:00～10:30 (90分)	事例紹介 『デンソーにおける安全の原点と 半世紀に及ぶ安全活動の積み上げ』 株式会社デンソー 安全衛生環境部 上級キャリアエキスパート 棚橋 昭
10:30～10:40	休憩
10:40～12:10 (90分)	講演 3 『安全は人が育つ会社から生まれる ～健康・安全・キャリアで考える これからの人材戦略～』 法政大学 キャリアデザイン学部 教授 廣川 進
12:10～13:10	昼食 休憩
13:10～14:40 (90分)	講演 4 『ヒューマンファクター的視点による 安全対策』 日本大学 生産工学部 教授 鳥居塚 崇
14:40～	閉講



参加要領

参加対象

経営者、総括安全衛生管理者、工場長など

受講料

資料代、11/26宿泊代(全個室)、11/26夕食、
11/27朝・昼食代および消費税を含みます。

〔中災防会員・賛助会員〕 **153,450円** 〔一般〕 **170,500円**

中小規模事業場料金割引サービスご利用の場合

〔中災防会員・賛助会員〕 **107,415円** 〔一般〕 **119,350円**

【料金割引サービス利用要件】

- 参加者が、常時使用する労働者数300人未満の労災保険適用事業場に所属する場合に適用されます。
- 本割引サービスをご利用になる場合は、申込書下部のサービス利用のご記入及び添付書類の提出をお願いします。
- 参加者所属事業場ごとに提出ください。

取消料

お申込み後に参加取消しをされた場合、下記の取消料を頂戴いたします。できるだけ代理の方のご参加をお願いいたします。なお、返金振込手数料はご負担いただきます。

開講日を含め7日前～開講日前々日までのお取消し	受講料の30%
開講日前日以降のお取消し	受講料の100%

申込方法

① 下記申込先のHPアドレスからお申込みください。お申込み受付後にメールにて正式受付の連絡を、セミナー開催10日前までに受講票の送信をいたします。受講料は原則開催2週間前までにご入金ください。なお、金融機関から発行される振込受領書(明細票)を領収書に代えさせていただきます。

② 前泊(11/25(水))の宿泊をご希望の方は、ホテルに直接ご連絡の上お申込みください。その際、安全衛生トップセミナーの参加者である旨を必ずお伝えください。

※ 前泊料金はセミナー参加費と一緒に送金せず、当日直接ホテルフロントにお支払いください。

申込先

中央労働災害防止協会
教育ゼロ災推進部 業務課

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2 安全衛生総合会館
TEL. 03-3452-6257(直通)

セミナーお申込みHPアドレス

https://www.jisha.or.jp/seminar/kyoiku/y1200_top.html



中災防 トップセミナー



クリック